

社会資本総合整備計画（市街地整備） 事後評価書

平成30年8月27日

計画の名称	整然とした市街地の形成、安心・快適なまちづくり		
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）	交付対象	奈良市
計画の目標			

本市においては、秩序ある市街地整備により、スプロール化を防ぎ、安全で良好な住宅地の形成を進めている。JR関西線により分断され、大部分が農地であったJR奈良駅南地区では、ミニ開発による宅地が混在するスプロール状態になりつつあり、連続立体事業とともに土地区画整理事業によって、公共施設の整備を行い良好な居住環境を創造する。

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 道路・公園等の公共施設を整備し、良好な居住環境を創造することで宅地の利用増進を図り、居住人口を増加する。 良好な居住環境のため地区内の防犯安全度を向上する。 		
----------------	---	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
① 地区内の居住人口を集計する。	380人	410人	500人	
② 防犯安全度＝照明施設の設置道路延長÷地区内の道路延長	38%	50%	51%	
全体事業費	合計 (A+B+C)	2,525百万円	A 1,614百万円 B 911百万円 C 0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C) 0%

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
奈良市都市整備部JR奈良駅周辺整備事務所で実施	平成30年8月
	公表の方法
	奈良市ホームページで公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業															
A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-A1	都市再生	一般	奈良市	直接	奈良市	JR奈良駅南特定土地区画整理事業	都市再生区画整理 A=14.6ha	奈良市						1,614	
合計													1,614		

B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-B1	街路	一般	奈良市	直接	奈良市	JR奈良駅南地区（都）大森西町線	区画整理 A=14.6ha	奈良市						146	
1-B2	街路	一般	奈良市	直接	奈良市	JR奈良駅南地区（JR関西線・桜井線）	区画整理 A=14.6ha	奈良市						765	
合計													911		

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-B1	都市再生区画整理事業（1-A1）と一体となって道路整備を進めることで、調和のとれたまちづくりを行うことができる。	
1-B2	都市再生区画整理事業（1-A1）と一体となって道路整備を進めることで、調和のとれたまちづくりを行うことができる。	

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
									H25	H26	H27					
												合計				
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 土地区画整理事業の進捗により、宅地の整備が進み住環境が向上し地区内の人口が増加した。 土地区画整理事業により道路整備を行い、防犯灯を設置することにより、夜間の通行の安全性が向上した。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①（地区内の 居住人口）	最終目標値	500人	目標値と実績値 に差が出た要因	土地区画整理事業により宅地の整備を行ったが、地権者の土地利用が進まなかった。
		最終実績値	460人		
	指標②（防犯安全度）	最終目標値	51%	目標値と実績値 に差が出た要因	土地区画整理事業により道路整備を行ったが、地権者の土地利用が進まず入居者等無いため、防犯灯の設置に至らなかった。
		最終実績値	47%		
	指標③	最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> 本計画により都市計画道路の整備や良質な住宅地の整備が進み、狹隘道路が減少したことにより防災機能が向上し、生活環境が著しく改善されている。 			
3. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> 本計画では道路・宅地整備等を行ったが土地利用が進まず、目標値を達成出来なかったが、新たな社会資本総合整備計画「安心して快適に暮らすことができる市街地の形成」で継続して事業を行っていくため、都市計画道路、区画道路、公園整備を行い良質な住宅地の整備を進めていく。 					

市街地整備

事業名称	整然とした市街地の形成、安心・快適なまちづくり		
事業期間	平成22年度 ~ 平成26年度（5年間）	交付対象	奈良市

